

4 週 神の聖定

質問 7. 神の聖定とは何ですか。

答え I 神の聖定とは、その方の計画の経緯による永遠の目的です。これによって神は、ご自身の栄光のために、これから成し遂げられるすべての出来事を、あらかじめ定めておられます。

解説

神の計画

聖書において、神の計画について語るときは、おもに御父と関連します（ヨハネ 10:18、12:49、17:6）。神は、永遠の方、無限なる知恵と力を持ち、始めからすべてのことを含めた、ひとつの計画を持っておられます。結局それは、神の契約として現れ、三位の神はそのひとつの計画を実行しておられます。神が計画を持っておられるなら、それは絶対に正しいことです。そして神は、絶対的主権によって、計画の目的のため、計画を成就させておられます。その目的もやはりひとつです。神はひとつの計画を持っておられるが、その計画は、すべての目的と手

段と条件とを含めていることです。

神の聖定

神の聖定とは複数となっているが、ひとつに結合されています。まるで、クモの巣のように絡まっていることです。それほど複雑なことが、失敗なく成就される理由は、神が起こるべきすべてのことをあらかじめ定められたからです。神の聖定は、これから成し遂げられる出来事を永遠の前から計画なさり、先に命じ、定め、決定なさったことです。神は、ご自身の御心とご意志に従って、何にも影響を受けずに、最も自由に、賢明にすべての行事を聖定なさいました(エペソ 1:11)。従って神は、ご自身の計画に従って定められたことです。この聖定は、神の知恵から出てきたものなので、人間がこうだあだと言える性質のものではありません。

聖定の目的

神の聖定の目的は、神ご自身の栄光を現すことです(ロマ 11:36、エペソ 1:5-6、12)。この時、神の栄光とは、神の恵みと慈悲を現し、一方では、神の公義と審判の厳しさを現します(ロマ 9:15-23、11:36、黙 4:11)。従って、神の選ばれた民ならば、救いの手段を熱心に用いる者として聖さが表れるようになっています(エペソ 1:5、Ⅱテサロニケ 2:13)。

しかし、自分は、神に選ばれた民だと言いながら、恵みの手段を用いることに注意せず(説教と神の御言葉と祈りの手段を用いない者たちのことを意味する)、その生活の中で聖化の効果、あるいは証拠がないのなら、その人は、神の公義によって審判に至る者となります。それゆえ、聖定の目的を考えることは、悪者が罪の生

活を捨て、神に立ち返って、聖なる生活を生きるように挑戦を与えてくれます。

聖定の種類

神の聖定には、一般聖定と特別聖定があります。神の一般聖定とは、神の永遠の目的によって立てられたもので、神はそれによって、これから成し遂げられるすべての出来事をあらかじめ定めました。そして神は、すべての被造物の存在と活動と行為、そして良い行いだけでなく、すべての悪い行いの許容までも、あらかじめ定められました（使徒 4:27-28）。

神の特別聖定とは、救おうとする民の選びと、捨てるべき者に対する定めのことです。神の選びに関する定めは、その方の永遠さと不変の計画のことを語ります。神はご自身の喜ばれるままに、ある人はキリストにあって選び、終わりの日に、永遠の命と福楽に至るようにさせ、そこに至る手段として、信仰と聖さを付与することで、その方の極まる恵みの豊さをほめたたえさせるためです（エペソ 1:4-6）。一方で、遺棄についての聖定は、選ばれていない者たちを、彼らの罪に従って滅びるようにほって置かれ、結局、永遠の刑罰の日に御怒りを受けさせ、神の無限なる公義を現わします。

このような神の聖定によって選ばれた者は、予見された善行のゆえに選ばれたのではなく、遺棄された者も予見された悪行によって遺棄されるものではありません。従って選ばれた者は、聖霊の有効召命によって、聖化の効果が確かに現れることで知ることができます。そして遺棄された者、あるいは捨てられた者は、神の恵みの手段の下にいたけれど、それを乱用し、誤用して、結局、墮落し、背教することで知るようになります。

すべてのことを定められた証拠

聖書は、神が、ご自身の目的に従って、世に起こって来る出来事を主管なさっておられると語っています（詩 33:10-11、使徒 2:23、エペソ 1:11）。神は、私たちの命の日数までも定め、私たちの住まいの境界をも定めておられます（ヨブ 14:5、使徒 17:26）。また神は、私たちの心を主管なさいます（箴言 19:21、21:1、イザヤ 46:10-11、出 7:3、9:12、ピリピ 2:13）。そして、私たちを救い、御前にきよい者とし、永遠の目的を成し遂げます（エペソ 1:4-6、2:10）

苦難の中で、聖定を黙想する有益

私たちは、命と関連しているすべてのところで、神を認めなければなりません。私たちは、心で神を常に認めることです。そして、神のご計画があることを認め、忍耐することです。特に、試練の期間中でも忍耐しなければなりません。そして神の恵みの手段を熱心に用いることです。なぜなら、手段は目的と連結しているからです。望みを持ち、真理が勝利することを確信しなければなりません。